

／ あなたのお仕事教えてください！ ／

サテライト応接室



仏壇だけに留まらず、漆を塗るものは何にでも
挑戦していきたいですね。
いつかは海外で仕事がしたいと思っています。



漆塗り職人

DATA

NAME: 伊藤 俊克さん

WORK: 株式会社マルス工佛壇(弥富市) 代表取締役
仏壇・仏具の製造および販売、漆塗り全般

1982年に経済学部を卒業した伊藤俊克さんは、自社で仏壇や仏具の製造・販売を行う傍ら、現在復元工事中の名古屋城の本丸御殿の漆塗りを行う「塗師」。伊藤さんが代表取締役を勤める(株)マルス工佛壇は、伝統的工芸品に認定されている「名古屋仏壇」を扱い、100年以上続く伝統技法を用いてクオリティーの高い製品を手がけています。

漆塗りの工程はどれも気を抜くことができない緻密で繊細な作業ばかり。そして大切な工程をあげるとしたら、木地を研の粉やニカワ等で塗面を滑らかにする「下地工程」だと伊藤さんはいいます。この工程が100%でないと、100%の製品を作ることができないからだそうです。5月29日から公開している名古屋城の本丸御殿玄関・表書院では、伊藤さんらが丁寧に塗り上げた美しい光沢の漆を随所に見ることができます。

4年前に四代目となる伊藤さんの息子さんが、修業を終えて(株)マルス工佛壇に就職。息子さんの入社で、「この仕事についた若い頃の熱い思いを、再認識している」と伊藤さん。先々代から続いている「言いたい事は言え、思った事はやれ」という教えを胸に、技術の向上や新しい分野への進出など、果敢に挑みます。

お仕事拝見!

名古屋城 本丸御殿
玄関・表書院

